

岡山県中小企業診断士会会報



一般社団法人 岡山県中小企業診断士会

2013 年 7 月 15 日発行（第 3 号）

代表理事・会長 あいさつ

診断士ならではの「専門性」ということを
深く考え高めていく

■□代表理事・会長 児玉健治□■



《はじめに》

平成 25 年 6 月の総会・理事会にて会長の職を拝命いたしました児玉健治です。会員のための診断士会ということ常を常に胸に抱いて運営をしてまいります。できるだけ多くの会員の方々の声を診断士会の運営に反映させていきたいと思っております。この会報でも診断士会として発信してまいりますので、会員の皆様からどんどん声をあげてくださいますようお願いいたします。

《診断士をとりまく環境》

中小企業診断士に対する世間の評価が、必ずしも順風というわけではないことは、皆様も既にご存知の通りで、昨年度もたびたび会報でも話題にしておりました。指摘されたことについては真摯に受けとめていかねばなりません。もちろん、誤った認識による不当な過小評価もあります。しかし、誤った認識は正していく必要がありますが、（納得できない）評価に対していちいち反論をしてみてもしかたありません。ここは診断士としてしっかりと成果と存在感をアピールして、文句なしに認めさせていかねばならないと考えております。

《診断士の専門性とは》

ここ数年、私個人としても、他の士業の方々、診断士以外のコンサルタントと連携して起業の支援を行う機会が多かったのですが、そういう環境のなかで診断士が果たすべき役割と期待される専

門性とは何か、を明確に認識できたように思います。

役割と専門性をあわせて表現すると「成長戦略をそなえた経営計画の策定および実行、成果出しの支援」ということになると思っています。これは、客観的に見ても診断士しかできないことであり、いろいろな士業が集まっても、診断士だけに期待されることであると考えています。そして、企業から最も強く求められている支援領域でもあります。キーワードは「成長戦略」「経営計画」「実行・成果出し支援」です。地元の中小企業の成長を直接的に支援できる専門家は、地元の中小企業診断士です。また、地域振興に大きく中心的な役割をもって関わり、実績を出すことができる専門家の一番手は、その地域で活動する診断士です。間違いありません。

《どのように専門性を高めていくか》

診断士会は同じ診断士の方が集う場です。ノウハウの共有、情報収集、診断指導技術の共同開発、先輩から後輩への指導・アドバイス、人脈共有など、できることはたくさんあります。診断士会として、場やしくみを積極的に作っていききたいと思います。また、診断士が活躍できる場も積極的に作っていきます。

《診断士は本当はスゴいんです》

「プロレスラーは本当は強いんです」・・・私が尊敬するプロレスラー桜庭和志選手が、総合格闘技においてプロレスラーの力が疑問視されていたなかで、強いと言われていた他の格闘技選手を次々に撃破したときにリング上で叫んだ言葉です。今こそ、大いに成果を出して、世間に診断士のスゴさを見せつけてやろうではありませんか。「診断士は本当はスゴいんです！」と心の中で叫び続けましょう。ベテランプロコン、若手プロコン、企業内、それぞれの立場で診断士のスゴさをまわりの方々すべてに見せつけてください。

人生一度きりです。診断士としての人生を、光り輝く、実り多いものにして、診断士であることを胸を張って自慢できる人生にしていこうではありませんか。

新理事ご紹介

■□専務理事 黒江正行■□



この度、専務理事を担当させていただくことになりました。

岡山県中小企業診断士会の強みは、50年以上の経営支援の歴史と、製造業、流通業、サービス業など、様々の分野で多くのプロが所属する事です。

時代の変化とともに、中小企業の経営はますます複雑化・困難化しておりますが、私共は中小企業支援のプロとして、しっかりと時代の要請に応えて行かなければなりません。

一人一人がさらに研鑽を積み、個別企業への納得の経営支援を通じて、地元経済の発展につなげて行きましょう。

会員の皆様と心をつなげて、岡山県中小企業診断士会の運営に臨んでいきますので、積極的なご参画、ご協力をお願いいたします。

■□理事 額田信一■□



中小企業診断協会岡山県支部の時代から通算して4年間、支部長・会長を勤めさせていただきましたが、このたびめでたく児玉新会長にバトンタッチすることができました。今後は新会長、新専務理事を支えて、陰ながら岡山県中小企業診断士会と地域・企業の発展に貢献したいと存じます。「地域と企業の発展が私達の願いです」をモットーに、「売り手よし、買い手よし、世間よしの三方一両得経営」のお手伝いができれば望外の幸せです。

このたびの総会で理事に任命されました川上です。

診断士の登録は、27年前で41歳の時です。プロコンサルタントとしての独立はH14年3月で57歳。今年は11年目を迎えております。

製造業出身ではありません

■□理事 川上恵三■□



が、この間、あらゆる業種の企業に加え、農林漁業分野も手掛けてまいりました。

「困ったときに最初に顔を思い出してもらえ診断士」を目指して今日まで活動してきました。

今後も地域貢献を第一に考え、地域の活性化に役立ちたいと思っておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

■□理事 川路隆志■□



本年度から理事を務めさせていただきます、川路隆志（かわじりゅうじ）と申します。現在は、「株式会社えんのした」の代表として、組織人事コンサルティング事業を中心に活動させて頂いております。これまで（自身の診断士の登録以来）、多くの

先輩方から、数々の学びやご指導を頂いてまいりました。本会への恩返しと、自分自身の成長の機会として、精一杯活動して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新運営委員ご紹介

■□運営委員 松田眞司■□

運営委員の松田眞司です。役員をやらせていただいてから年数だけはベテランになってしまいましたが、まだまだ未熟者です。これからも皆様のご協力をお願いいたします。

担当は、交流会事業、プロコン育成塾事業です。

■□運営委員 木野内俊典■□

木野内です。企業内診断士で勤務先はベネッセコーポレーションです。県診断士会所属の企業内診断士の皆様に少しでも貢献できるよう、運営委員として頑張りますので宜しくお願いいたします。

担当は、理論政策更新研修、論文集、ノウハウ承継事業です。

■□運営委員 黒田俊彦■□

所属 T・Bコンサルタント事務所（個人）、主に小規模事業者を対象にコンサルタント活動を行なっています。

最近、各種の助成金、補助金申請や労務関係のお手伝いをすることが多くなっています。

診断士会の3k「稼げる、活躍する、輝ける」

に協力できるように、微力ではありますが、頑張らせていただきたいと思います。

担当は、診断士試験実務補習事業、無料相談会です。

■□運営委員 卯善卓義□■

前回に引き続き、運営委員に任命されました卯善です。

行き届かない点は多々あるとは思いますが、岡山県診断士会の発展に尽くしたいと考えています。今後とも会員の皆様よろしくお願いします。

担当は、広報、診断士フォーラム、ノウハウ承継事業です。

■□運営委員 竹原正孝□■

引き続き運営委員に任命されました竹原正孝です。

金融情勢、景気動向が大きく変動している中、県内企業も新たな分野を目指して、新技術・試作品開発、新市場開拓、資金調達、経営改善に日々努力し、中小企業診断士に支援を求めています。

中小企業診断士の豊富な経験、知見、専門性を活かして、中小企業診断士の知名度向上と活躍できる職域が増えるように努力してまいります。

担当は、診断士フォーラム、職域拡大事業です。

■□運営委員 窪田 司□■

前期に引き続き、運営委員を拝命いたしました窪田です。

行き届かないところも多々あるかと思いますが、皆様のご支援を受けながら、岡山県中小企業診断士会の発展に向けて精一杯頑張りたいと考えております。

会員の皆様よろしくお願いいたします

担当は、診断士フォーラム、近県協会との合同研修事業です。

■□運営委員 安藤 覚□■

平成 25 年度の運営委員を仰せつかった安藤です。中小企業診断士に登録して 7 年、独立して 5 年 9 ヶ月ほど経ちましたが、役をいただいたのは今回が初めてであります。

診断士会の発展のため微力ながら奮闘したいと思っていますのでよろしくお願いします。会員の皆様の積極的な参加を期待しております。

担当は、近県協会との合同研修事業、海外視察事業、診断士試験実務補習事業です。

■□運営委員 井上きよみ□■

中小企業診断士の登録を東京から岡山県に移して 3 年目で初めての運営委員となりました。岡山の診断士会はとても民主的な運営がなされ、居心地の良い会だと感じています。それに女性を大切にしてくださるのも、うれしい限りです。

今年はまるで当たり年のように、町内会や他の団体の役も回ってきましたが、「地域のために役立ちなさい」という天のお告げだと思い、がんばりますので、よろしくお願いします。

担当は、診断士フォーラム、診断実務従事事業です。

■□運営委員 太田文男□■

ゆめおい研究所(株)の太田でございます。岡山大学、同志社大学大学院修了後、日本 IBM のシステムエンジニアとして、250 カ店接続の営業店システムや、24 時間稼働インターネットバンキング、都市銀行のシステム統合を担当しました。2008 年に中小企業診断士として独立後、“IT&コミュニケーション”をキーワードに、IT コンサルティングや、コーチング／ファシリテーションを活かした課題解決のためのプロジェクト遂行支援を積極的に展開しています。

担当は、理論政策更新研修、論文集、診断実務従事事業です。

■□運営委員 大原章道□■

この度、岡山県中小企業診断士会の運営委員を拝命しました(株)キー・ロジの大原章道です。

私の専門分野は、組織活性化を中心にした経営コンサルティングと、トータル物流コストの削減を行う物流コンサルティングです。コンサルティングの現場では多様な階層の方々が対象となりますが、診断士会の運営委員としてサービスを提供する対象は、云わばトップ層です。その意味で運営委員の仕事を通して学んだことが、コンサルティングの現場にも活かせることと思います。

また、運営委員の活動を通して士会の発展に貢献していきたいと思い、運営委員としての役割を真摯に果たしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

担当は、無料相談会、海外視察事業、土業連携事業です。



■□運営委員 植野悦次□■

この度、運営委員を拝命いたしました植野悦次です。岡山県信用保証協会勤務です。

診断士の登録は平成8年商業で、得意分野は事業再生、事業承継、不動産関係、ファイナンシャルプラン等です。

これから自分が勉強する主要テーマは社会保険関係に力を入れて、極めていきたいと思っています。

私が診断士会でやるべきことは、より一層の職域拡大を図りたいと思います。

担当は、職域拡大事業、交流会事業です。

■□運営委員 下林啓二□■

この度、岡山県中小企業診断士会の運営委員を拝命いたしました(有)クリエイティブ コンサルタント グループに所属しております下林啓二と申します。

私は、平成9年に(株)中国銀行を退行後、一般企業数社で実務を経験したのち、平成20年から4年間、岡山県中小企業再生支援協議会のサブマネージャーとして在籍いたしました。

現在は、企業の経営改善計画・再生計画の策定支援を中心に活動しております。

診断士会が今後ますます発展するよう、運営委員としての役割を全力で果たして行きたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

担当は、診断実務従事事業、診断士試験実務補習です。

■□運営委員 松本直也□■

新任運営委員の松本直也です。平成17年3月に中小企業診断士に登録、平成20年6月に独立開業しました。現在は株式会社アルマ経営研究所に所属し、公的支援業務・民間コンサルティング・公共機関からの受託調査等を行っています。診断士の仕事は多種多様でなかなか面白いと日々業務を行う中で実感しています。

まだまだ微力ではありますが、これまで診断士会の諸先輩からいただいたものを運営委員として少しでもお返しできればと感じています。特にこれから（いずれは）独立しようと思われている方の後押しができればと思っています。会員の皆様よろしくお願いいたします。

担当は、理論政策更新研修、論文集、無料相談会事業です。

新会員ご紹介

■□荒木廣行□■

はじめまして。平成24年度の中小企業診断士試験に合格し、平成25年6月1日に岡山県診断士会に登録しました荒木廣行と申します。

卒業後、カバヤ食品(株)に入社し、神奈川県でルートセールスを経験しました。その後、サンユイシダストリアル(株)に転職し、石油化学品の開発営業を全国に展開しました。家庭の事情で帰郷後は、海和工業(株)で海洋土木資材の製造と全国に施工工事を行いました。営業面では、岡山県と沖縄県を担当しました。

平成23年4月1日に社会保険労務士の開業登録と同時に岡山労働局に入り、育児介護休業法と次世代法を担当し日本の将来を担う子供たちを守りました。また、事業主と労働者はお互いを理解し協力する会社を目指しました。そのため特定社会保険労務士の登録をしました。この間に、コンサルタントスキルを高めたいと思い、(公財)日本生産性本部で学びました。

今後は、「企業はヒトなり」が実現するよう企業を支援したい所存です。

診断士会の皆様、何卒宜しくお願い申しあげます。

■□高月祥晶□■

はじめまして。今春中小企業大学校を卒業し中小企業診断士となりました高月祥晶と申します。

現在の勤務先はおかやま信用金庫ですが、大学校入学前は2年半ほど岡山県産業振興財団に出向していました。

今後は今までの経験や人脈を活かし、診断士として中小企業支援に邁進していく所存です。

またそのために岡山県診断士会にも入会させて頂き、日々の研鑽により更なるスキルアップに努めたいと思います。

先輩会員の皆様方、今後共よろしくお願いいたします。

■□川邊浩生□■

「はじめまして、平成24年度の診断士試験に合格し、平成25年度より岡山県診断士会に登録しました川邊浩生と申します。

勤務先はトマト銀行で、現在は、経営改善支援の業務に携わっています。

今後の抱負ですが、お取引先様の業績向上に貢

献できるように、日々研鑽して行こうと思っています。この度、岡山県診断士会に入会させていただくことで、勉強させていただく機会とさせていただければと思っています。

先輩会員の皆様方、ご指導の程、どうぞよろしくお願いいたします。

■□難波三郎□■

はじめまして難波三郎と申します。この春、岡山県診断士会に転入致しました。昭和42年、岡山市出身ですが、この20年の大半を県外で暮らしました。

県外では、多くの飲食店でフリーターとして働き、その経験を活かして何軒かのお店も経営しました。その後7年前に診断士になり、東京で5年、熊本で2年活動してきました。

「メニューが飲食店を救う」という本を出版している関係で、東京では飲食業の再生、創業、新業態立ち上げなどに従事しました。

それから、対応範囲を広げるために、熊本の知人が営む税理士事務所に所属しました。そしてこの度、母と同居するため岡山に戻ってきた次第です。

まだまだ「専門バカ」の領域を出ない未熟者だと心得ております。ご指導ご鞭撻賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

定時総会および授与式

平成25年6月8日（土）15時～17時

場所 サンビーチ岡山 3F
岡山市北区駅前町 2-3-31

出席者数 会員総数 132名
出席会員数 95名（うち委任状 51名）

会員総数の3分の1以上の会員出席で総会は成立し、議案に関し審議の結果、全員の拍手を以って承認されました。

また、平成24年度一般社団法人中小企業診断協会 会長表彰を、（20年以上本会の会員であって、永年にわたり本会の発展に貢献した者）野上靖雄氏と浮田健治氏が授与されました。



診断士フォーラム

◇◆4月フォーラム 4/14(日)◆◇

テーマ：弁当屋「ごはんの花」経営を通じて考えたこと、これからの方向について

講師：会員 安原朋彦 氏

内容：平成23年9月のオープンから1年半。この間に起きた出来事から身にしみて感じたことについての報告と零細飲食業の販促はどの程度の金額でどんな手法でやるべきか、廃棄ロスと機会ロスのバランスはどう考えて商品を並べるかなどいろんなケースにおける意思決定のあり方、今後の経営戦略についての内容でした。

◇◆5月フォーラム 5/12(日)◆◇

テーマ：岡山県の地場産業とリサイクルの調査研究

講師：循環ビジネス研究会 有志

内容：岡山県の12業種の地場産業とリサイクルに焦点を当て、調査研究を行った内容の報告でした。

◇◆7月フォーラム 7/14(日)◆◇

テーマ：契約書の戦略的な作り方

講師：岡山テミス法律事務所
弁護士 柴田 収 氏

内容：今回の講演では、なぜ契約書が重要なのかという点から始まり、契約書の内容として織り込まなければならないポイントや、契約書を作っていく中で取引先とどのように交渉していくべきかなど、どのようなやり方だと手間がかからずに済むかなど、実践的な説明をしていただきました。

☆今後のフォーラム予定

8/4、10/13、11/10、12/8、(H26)1/12、2/9、3/9

フォーラムで発表等、ご希望の方は、事務局までご相談ください。



士業親睦ゴルフ大会

岡山県内の士業 10 団体の参加による、第 32 回岡山自由業団体親睦ゴルフ大会が、平成 25 年 6 月 1 日（土）に山陽ゴルフ倶楽部で行なわれました。

診断士会からは川上、黒江、神崎、草野、川路の 5 名が参加。

天候にも恵まれ、士業間の相互親睦を図ることができました♪



研究会事業の活動予定

●○商工会議所共同研究会○●

岡山商工会議所との共同研究会がスタートしました。

平成 25 年 4 月 8 日に調印された岡山商工会議所と岡山県中小企業診断士会との包括業務提携締結に基づいて、両団体からメンバーを出しての「共同研究会」を設置することになりました。4 つの研究会を設置し、それぞれ、成果物をアウトプットしていくことになります。

テーマと診断士会から参加しているメンバーは次の通りです。（敬称略）

- | | | |
|----------|--------|------|
| ・店づくり | ・・児玉健治 | 難波三郎 |
| ・創業・事業承継 | ・・山元正揮 | 川路隆志 |
| ・経営革新 | ・・松本直也 | 目黒秀二 |
| ・経営改善 | ・・今井岸夫 | 渡辺昌平 |

今年度中に 5 回程度の会合を開き、各研究会が足並みをそろえながらも、個性を発揮しつつ、進めていくこととなります。診断士会から参加

しているメンバーが各研究会のリーダーとなって研究会を進行していきます。双方のメンバーが持っているノウハウ、情報、経験などを持ち寄り、双方が実際の指導場面で使える実践的な指導マニュアルを研究会の成果として各研究会からアウトプットします。

「経営者と対面して、初めて発する言葉は」など、今までにない、実際の現場で本当に「ツカエル」マニュアルを作り上げ、双方の財産にしていきたいと考えています。ご期待ください。

●○循環ビジネス研究会○●

循環ビジネス研究会は昨年の地場産業の研究と併せて、従来から行っていた廃棄物処理、リサイクル等の研究を行います。

まず、今年は秋に企業視察を計画しています。従来から行っていた「産業廃棄物処理業等における経理的基礎の審査」についても真摯に行っていきます。

●○ソーシャルビジネス研究会○●

大阪支部の同名研究会代表を 10 月の診断士フォーラムにお招きする予定です。

ソーシャルビジネスについて感心をお持ちの方は、是非参加してください。

10 月の診断士フォーラムの後で、新たに会員の募集を行ないたいと考えております。詳細については、そのときに発表したいと考えております。

●○地域活性化研究会○●

当会は、地域活性化を主題として地域経済や中小企業の振興等、中小企業診断士として支援、もしくは提言できるテーマを選定し、調査研究活動を行っています。現在 4 名（安藤、小川、太田、松本）が当会の会員です。

昨年度は、新たな視点での調査研究活動を行うため（前回テーマは中小企業の採用活動と大学生の就職意識に関する調査研究）、7 月・8 月・10 月に研究会を行い、新たなテーマの選定を行いました。その結果、研究テーマを「優れた中小企業に関する調査研究（仮称）」とし、その事前調査として、平成 25 年 1 月に視察を行いました。

本年度は、上記テーマを本格的に実施したいと考えています。本年度の第一回目の研究会を 5 月 27 日に開催し、概ね月 1 回の活動となる見込みです。またフェイスブックやメーリングリ

スト等を活用し、随時情報共有や意見交換を行います。

当会は、平成 17 年に発足してから現在まで、会員の積極的な参画のもと、地域活性化に寄与できる調査研究活動を継続しています。

当会にご興味・ご関心ある方は、是非お声掛けください。

●○知的探訪研究会●○

平成 22 年度に発足した「知的探訪研究会」ですが今年度で 4 年目に入りました。

当会は近隣のユニークな企業や製造現場を見学する会です。昨年度はカバヤ食品、安田工業、高田織物など 8 社を訪問しました。

今年度も 8 月の徳永こいのぼりを皮きりに倉敷レーザー、岡山技研、両備 HD などの企業訪問を計画しております。

現在メンバーは 27 名です。百聞は一見に如かずと言いますが、現場を見ると必ず新しい気づきがあります。直接、経営者と質疑応答出来る機会があるのもこの会ならではの。

ご関心がある方はぜひご加入下さい。

●○企業再生研究会●○

再生研の役割と方向性

平成 25 年度にはいり、経営革新等認定支援機関制度の本格運用が開始されました。企業の設備投資や雇用創出、銀行の融資やコンサル機能、支援機関への謝金が連動しており、見事な政策と感嘆するばかりであります。これらは、一過性のものでなく今後継続されるであろうし、次には現在構築中の IT システムと連動して支援機関も淘汰・格付けされていくのかもしれない。

ともあれ外部環境に一喜一憂することなく、企業のために本当の力を身につけていくことが重要だと考えます。

そんな目的を実現するための場としての企業再生研究会にしたいと思えます。

海外視察事業予定

昨年は竹島・尖閣諸島の領有権問題等の影響で「海外視察」は中止となりました。

今年度に関しましては今のところ未定ですが、会員の皆様のご希望を聞きながら事業を進めてまいりたいと考えております。

海外視察先のご希望がありましたら、担当の安

藤か大原の方まで 7 月末までにお知らせいただければ参考にさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

近隣協会との合同研修会事業予定

今年度は岡山県診断士会が実施団体となりますので、岡山市内にて 10/27（日）13 時～17 時に開催する予定で進めております。17 時～19 時には懇親会も計画しています。会場は岡山コンベンションセンター 405 号室です。実施内容については現在選定中ではありますが、他県の診断士と意見交換しながら相互啓発を図る事業でありますので、多くの会員のみなさまの積極的な参加を期待しています。

無料相談会事業予定

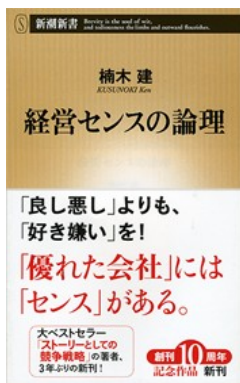
今年度は岡山商工会議所のセミナーやしんきん合同ビジネス交流会、士業連携への無料相談会へ参加する予定です。

しんきん合同ビジネス交流会は平成 25 年 9 月 11 日（水）開催です。

今年度スケジュール

4月	14 日	フォーラム 委員会・理事会
5月	12 日	フォーラム
6月	1 日	自由業団体連絡協議会親睦ゴルフ大会
	8 日	定時総会
	16 日	委員会・理事会
7月	14 日	フォーラム
8月	4 日	フォーラム 委員会・理事会
9月	21 日	士業連携フォーラム
	28 日	登録更新研修会
10月	13 日	フォーラム 委員会・理事会
	27 日	近県協会合同研修
	31 日	中国ブロック会議
11月	10 日	フォーラム
12月	8 日	フォーラム 委員会・理事会
1月	12 日	フォーラム 新年会
2月	9 日	フォーラム 委員会・理事会
3月	9 日	フォーラム

書籍のご紹介



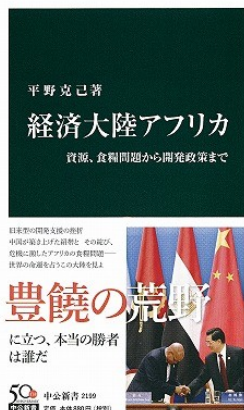
楠木建

『経営センスの論理』

新潮社, 2013.

会社をよくするのに必要なのは、「スキル」よりも「センス」を磨くことである。会計技術であれ英語力であれ、単なるスキルをアップさせても「経営」はよくならない。「よい会社」には根幹の戦略に骨太な論理＝ストーリーがあり、そこにこそ「経営センス」が光るのだ——。本格的な経営書として異例のベストセラーとなった『ストーリーとしての競争戦略』の著者が縦横に語り尽くす「経営の骨法」。

(新潮社ホームページより)



平野克己

『経済大陸アフリカ』

中央公論新社, 2013.

アフリカを「援助」する時代は終わった。新興国をはじめ、世界中が凄まじい勢いで食糧、石油やレアアースといった鉱物資源を呑み込んでいく現代。これらの需要に対する供給源として、アフリカの重要性は突出している。いまアフリカとの経済連携は、中

国が一頭地を抜く。世界各国がそれを追うなか、さらに大きく遅れている日本に挽回の余地はあるのか——。広大なアフリカ大陸を舞台に、世界の未来と命運とを描き出す。

(中央公論新社ホームページより)



原田泳幸

『成功を決める「順序」の経営』

日経 BP 社, 2013.

7 年連続で既存店売上高が落ち続けるという「どん底」にあった日本マクドナルドホールディングス。だが、2004 年に原田氏が CEO に就くと業績は反転、2011 年 12

月期決算では経常利益が上場以来の最高益を更新した。なぜ華麗なまでの V 字回復が可能になったのか——。原田氏が進めた「順序」の経営をひもといていく。(日経ビジネスホームページより)

会員の消息

<退会>

井上幹彦 氏、西原哲也 氏

<休止による退会>

石野 功 氏、横川和直 氏

<他協会へ移籍>

小野智睦 氏 千葉県へ

<他協会から移籍>

難波三郎 氏 熊本県より

<新会員>

荒木廣行 氏、高月祥晶 氏、川邊浩生 氏



Web サイト

URL: www.optic.or.jp/o-smeca



瀬戸大橋

編集後記

平成 25 年 6 月、定時総会において、新役員が決まり、新たな顔触れで事業がスタートいたしました。より、身近に感じられる中小企業診断士会として、中小企業診断士の知名度があがるよう、広報活動を行ってまいりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

今年は梅雨も平年より早く明け、暑い夏が始まりました。

暑熱耐え難きこの頃、くれぐれもご自愛下さい。

岡山県診断士会会報 第 3 号

平成 25 年 7 月 15 日 発行

一般社団法人岡山県中小企業診断士会

〒700-0907 岡山北区下石井 2-1-10 KEビル 7F

Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554

発行人 会長 児玉 健治

編集人 専務理事 黒江 正行

